

今から考えておきたい「介護とその後」への備え

「介護と相続に向けた準備学」

～相続まで見据えて家族で考えよう～

【主旨】

介護に関連するストレスの問題を考えるにあたって、時系列で考えることの重要性は紹介しておりましたが、実は介護が終わった後の相続についても、大きなストレスに繋がっているということが分かってきました。

いざ介護する状態になると、目の前の介護で頭がいっぱいになります。介護準備と言うテーマで、まだ冷静に考えられるときに、介護について家族会議を行っていただく際、介護だけでなく相続まで意識して準備することで、家族間が納得した形の介護・相続を迎えられるコツを学びます。

本コースでは、介護を経験した講師より介護ストレスは何故起こるのか、介護に対する心構えやストレスを溜めない方策などを学びます。また介護と相続の密接な関係を理解し、介護だけでなくその後（次の世代）まで意識した準備をする重要性をご理解いただくことを目的としています。

【概要】

- ・参加対象：被保険者及びその家族
- ・時間：10：00～15：00
- ・配布資料(予定)：専用教材、レジュメ、電話相談センターの案内
地域別保健福祉サービス情報「あなたの町の保健福祉サービス情報」

【介護準備学(相続)コースのポイント】

・<講義> 介護ストレスへの心構えと制度の活用

想定と現実のギャップで起こる介護ストレスの回避に向けて、介護者の心構え、相談窓口との対応法、介護保険制度の活用時の心構えなどを学びます。さらに、介護ストレスと関連が深い認知症について学びます。

<講師のプロフィール：株式会社コミュニケーター 代表取締役 横井 孝治氏>

介護準備学（お金）コースも担当。2001年、印刷会社でコピーライターとして就業中、離れて暮らす両親の突然の介護生活が始まる。戸惑い手探り、独学で介護を行う中、介護ストレス、介護問題に強い関心、興味を持つようになる。現在は介護関連の複数のWebサービスを運営する傍ら、日本全国での講演活動、執筆活動、テレビや新聞などのメディア活動など幅広く活躍中。

・<講義> 相続でもめないためにやるべき事

介護と相続との関係を理解し、介護準備に向けて、合わせて考えておきたい相続までイメージした介護準備を学びます。

【参加者名簿に記載していただきたい内容】

- ・参加者氏名、性別、年齢
- ・介護中か否か（講義内容に反映させるため、報告内容を集計し、担当講師に事前に伝えます。）
- ・参加者及び介護者の居住市町村名（上記配布資料の地域別保健福祉サービス情報を配布するため）
※住所の番地までは必要ありません。市町村名までで結構です。
- ・講座の中で特に聞きたい点、事前の質問事項など（任意です。講義内容に反映できるよう、報告内容は集計し、担当講師に伝えます。）

【受講案内時に告知していただきたい内容】

- ・実技はありませんので、服装等の注意事項はありません。